

## 簡易な収入(所得)見込額の申立書 【家計急変者】

○「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金申請書」と一緒にご提出ください。

① 下記にチェック (☑) してください。

私の世帯は、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少しました。

② 申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記入した者全てについて記入してください。

|   | (フリガナ)<br>氏名 | 左欄の者が扶養する者の数<br>① | 令和4年度<br>住民税<br>課税状況<br>②   | 障害者控除等<br>の適用<br>③  | 収入の減少<br>のあった年<br>月<br>④ | 任意の1か月の収入⑤           |                        |             | 年間収入<br>見込額<br>D×12<br>⑥ | 非課税相当<br>収入<br>限度額<br>⑦ |
|---|--------------|-------------------|---|---|--------------------------|----------------------|------------------------|-------------|--------------------------|-------------------------|
|   |              |                   |   |   |                          | 給与収入<br>【A】          | 事業収入又は<br>不動産収入<br>【B】 | 年金収入<br>【C】 |                          |                         |
| 1 |              | 人                 | <input type="checkbox"/> 課税<br><input type="checkbox"/> 非課税<br><input type="checkbox"/> 未申告 | <input type="checkbox"/> 障害者控除<br><input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除<br><input type="checkbox"/> ひとり親控除 | 令和4年 月                   | 収入合計額 A+B+C=【D】<br>円 |                        |             | 円                        | 円                       |
| 2 |              | 人                 | <input type="checkbox"/> 課税<br><input type="checkbox"/> 非課税<br><input type="checkbox"/> 未申告 | <input type="checkbox"/> 障害者控除<br><input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除<br><input type="checkbox"/> ひとり親控除 | 令和4年 月                   | 収入合計額 A+B+C=【D】<br>円 |                        |             | 円                        | 円                       |
| 3 |              | 人                 | <input type="checkbox"/> 課税<br><input type="checkbox"/> 非課税<br><input type="checkbox"/> 未申告 | <input type="checkbox"/> 障害者控除<br><input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除<br><input type="checkbox"/> ひとり親控除 | 令和4年 月                   | 収入合計額 A+B+C=【D】<br>円 |                        |             | 円                        | 円                       |
| 4 |              | 人                 | <input type="checkbox"/> 課税<br><input type="checkbox"/> 非課税<br><input type="checkbox"/> 未申告 | <input type="checkbox"/> 障害者控除<br><input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除<br><input type="checkbox"/> ひとり親控除 | 令和4年 月                   | 収入合計額 A+B+C=【D】<br>円 |                        |             | 円                        | 円                       |
| 5 |              | 人                 | <input type="checkbox"/> 課税<br><input type="checkbox"/> 非課税<br><input type="checkbox"/> 未申告 | <input type="checkbox"/> 障害者控除<br><input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除<br><input type="checkbox"/> ひとり親控除 | 令和4年 月                   | 収入合計額 A+B+C=【D】<br>円 |                        |             | 円                        | 円                       |

(記入上の注意)

- ① 「左欄の者が扶養する者の数」欄には、同居・別居にかかわらず、左欄の者が扶養している親族の数を記入して下さい。(扶養控除等申告書で届け出ている人数)
- ② 「住民税課税状況」欄には、各年度の該当する項目にチェック☑してください。
- ③ 「障害者控除等の適用」欄は、該当する控除を受けている場合には、チェック☑してください。
- ④ 「収入の減少のあった年月」欄には、住民税非課税相当の収入であった令和4年1月以降の任意の1か月の月を記入してください。
- ⑤ 「任意の1か月の収入」欄には、住民税非課税相当の収入であった、令和4年1月以降の任意の1か月の収入を記入してください。  
※令和4年度住民税確定後は、令和3年1月から12月の任意の1か月による申請はできません。令和4年度住民税非課税世帯のうち、本給付金の支給を受けていない世帯については、令和4年度住民税非課税世帯に対する給付として、令和4年6月1日時点で住民登録のある市町村から確認書等が送付されます。

|                 |   |
|-----------------|---|
| 給与収入            | ※給与収入がある場合にご記入ください。<br>※給与明細書などの収入額が分かる書類をご提出ください。                    |
| 事業収入又は<br>不動産収入 | ※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。<br>※帳簿などの収入額が分かる書類をご提出ください。                |
| 年金収入            | ※年金収入がある場合にご記入ください。<br>※年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの支給額がわかる書類をご提出ください。 |

※給与収入、事業収入又は不動産収入、年金収入いずれの場合も、所得税が課されないものは、これらの収入として計上する必要はありません。

- ⑥ 「年間収入見込額」欄には、D欄(収入合計額)を12倍した金額を記入してください。
- ⑦ 「非課税相当収入限度額」には、①欄の人数に応じて、下表から該当する非課税相当収入限度額を記入してください。  
(早見表)

| 扶養している親族の状況            | 非課税相当収入限度額 |
|------------------------|------------|
| 単身又は扶養親族がいない場合         | 93.0万円     |
| 配偶者・扶養親族(1名)を扶養している場合  | 137.8万円    |
| 配偶者・扶養親族(計2名)を扶養している場合 | 168.0万円    |
| 配偶者・扶養親族(計3名)を扶養している場合 | 209.7万円    |
| 配偶者・扶養親族(計4名)を扶養している場合 | 249.7万円    |
| 障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合    | 204.3万円    |

※これを超える場合は、上記の被扶養者の人数に応じた区分を適用

③ 年間所得により申し立てる場合、申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記入した全ての者について記入してください。

|   | (フリガナ)<br>氏 名 | 【収入】             | 【控除】             |                   |                  | 【所得見込】           | 【非課税相当額】          |
|---|---------------|------------------|------------------|-------------------|------------------|------------------|-------------------|
|   |               | 年間収入<br>見込額<br>⑥ | 給与所得<br>控除額<br>⑧ | 事業収入等<br>の経費<br>⑨ | 公的年金等<br>控除<br>⑩ | 年間所得<br>見込額<br>⑪ | 非課税所得<br>限度額<br>⑫ |
| 1 |               | 円                | 円                | 円                 | 円                | 円                | 円                 |
| 2 |               | 円                | 円                | 円                 | 円                | 円                | 円                 |
| 3 |               | 円                | 円                | 円                 | 円                | 円                | 円                 |
| 4 |               | 円                | 円                | 円                 | 円                | 円                | 円                 |
| 5 |               | 円                | 円                | 円                 | 円                | 円                | 円                 |

(記入上の注意)

⑥「年間収入見込額」欄には、表面の年間収入見込額(⑥欄)の額を転記して下さい。

⑧「給与所得控除額」欄には、以下の算定式により控除額を計算の上、ご記入ください。

- ① A×12の額(給与収入分)が162.5万円以下 → 55万円
- ② A×12の額(給与収入分)が162.5万円超180万円以下 → 給与収入分×40%－10万円
- ③ A×12の額(給与収入分)が180万円超360万円以下 → 給与収入分×30%＋8万円
- ④ A×12の額(給与収入分)が360万円超660万円以下 → 給与収入分×20%＋44万円

⑨「事業収入等の経費」

- ① 事業収入又は不動産収入を記入した方は、当該収入のために要した経費の12か月相当額をご記入ください
- ② 帳簿等の上記の経費がわかる書類をご提出ください。

⑩「公的年金等控除」の欄には、以下の算定式により控除額を計算の上、ご記入ください。

- (65歳未満の方) 公的年金等収入分 → 控除額
  - : 60万円以下 → 公的年金等収入分の全額
  - : 60万円超130万円未満 → 60万円
  - : 130万円以上410万円未満 → 公的年金等収入分×0.25＋27万5千円
  - : 410万円以上770万円未満 → 公的年金等収入分×0.15＋68万5千円
- (65歳以上の方) 公的年金等収入分 → 控除額
  - : 110万円以下 → 公的年金等収入分の全額
  - : 110万円超330万円未満 → 110万円
  - : 330万円以上410万円未満 → 公的年金等収入分×0.25＋27万5千円
  - : 410万円以上770万円未満 → 公的年金等収入分×0.15＋68万5千円

⑪「年間所得見込額」の欄には、以下の算定式により計算の上、ご記入ください。

⑪年間所得見込額 = ⑥年間収入見込額 - ( ⑧給与所得控除額 + ⑨事業収入等の経費 + ⑩公的年金等控除 )

⑫「非課税所得限度額」には、①欄の人数に応じて、下表から該当する非課税相当所得限度額を記入してください。

※限度額は下の早見表から、①欄の「左欄の者が扶養する者の数」に応じた状況に対応する欄の金額を記入してください。

※下表の「扶養している親族の状況」は、「申請者本人」「同一生計配偶者(所得金額48万円以下の者)」「扶養親族(16歳未満の者も含む)」の合計人数です。

(早見表)

| 扶養している親族の状況            | 非課税相当所得限度額 |
|------------------------|------------|
| 単身又は扶養親族がない場合          | 38.0万円     |
| 配偶者・扶養親族(1名)を扶養している場合  | 82.8万円     |
| 配偶者・扶養親族(計2名)を扶養している場合 | 110.8万円    |
| 配偶者・扶養親族(計3名)を扶養している場合 | 138.8万円    |
| 配偶者・扶養親族(計4名)を扶養している場合 | 166.8万円    |
| 障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合    | 135.0万円    |

※これを超える場合は、上記の被扶養者の人数に応じた区分を適用